



松本市重要有形民俗文化財

松本城下町の舞台

シリーズ⑫

『中町一丁目 舞台の由来と特徴』

中町一丁目の舞台は、昭和9年に建造されたもので、歴史を引き継ぎながら保存されています。現在のこの舞台は三代目とされています。舞台作者棟梁人形師等是不詳です。舞台構造は四輪二層構成で起り切妻、妻入屋根です。下層は春慶塗り八双金具に上層

特徴としては彫り物彫刻が少なく、舞台装飾が少なく



【人形】狸々

令和7年3月1日現在

世帯数 : 852世帯

人口 : 1473人

男 : 701人

女 : 772人



中町一丁目舞台
【建造】昭和9年 平成19年修復

三代目の現在の舞台は、平成18年に修復のため、松本深志舞台保存会による解体事業に着手しました。20

回以上の会合を重ね、平成19年7月7日に舞台修復完了し、町会舞台修復竣工入魂式を迎えることができました。その優雅で立派な舞台に町会一同舞い上がって喜んでいました。当時、松本市の舞台助成補助金もありましたが、幸い町会には十分な資金がありましたので、金銭の申し出をすべて断り、修復することができました。新しく舞台積立金として向こう10年間全戸に割り当て徴収して、町会に返金することができました。



中町1丁目舞台修復記念 平成19年7月7日

控えめで有りますが、これがかえってその端正な姿を引き立てて見とれてしまいます。舞台人形は「能の狸々」です。狸々は能の舞台の舞いによって神聖な力を表現したり、神の使者としてその神秘的で妖艶な姿を印象づける役割を持ち、人間や獣のようには赤い顔と体毛に衣装を着て、強力な魔力を持つ精霊として描かれています。最初の建造当時から有りました。

その優雅で立派な舞台に町会一同舞い上がって喜んでいました。当時、松本市の舞台助成補助金もありましたが、幸い町会には十分な資金がありましたので、金銭の申し出をすべて断り、修復することができました。新しく舞台積立金として向こう10年間全戸に割り当て徴収して、町会に返金することができました。

の形を忠実に再現され、細部にわたる美しさをそのまま残しており、信大研究室及び修理関係者に謝意を表します。今後単に舞台としての機能を果たすだけでなく、地域の歴史や文化を象徴する「松本市重要有形民俗文化財」として後世に伝えるためにも、独立した舞台展示場ができないか夢を描いています。この舞台を訪れることで、歴史や文化を身近に感じることができ、今後も多くの人々に愛され続けることを期待しています。



第一地区の町内公民館活動

～町内のつながりは心のつながり～



本町5丁目

親睦旅行(横谷峡温泉)



新伊勢町

松本山雅 試合観戦



中町2丁目

マレーシア家庭料理を学ぼう!



伊勢町3丁目

新そば会(奈川仙洛)



西長沢町

健康体操教室



国府町

花壇の植え替え

電車通り

先日、町会が開催する地域交流事業に参加する機会があり、ご近所で「ハラル・カフェ」を営むマレーシア出身の女性に、マレーシアの家庭料理を教えてくださいました。

我が家と、通りを挟んで数十メートルの場所にお住まいの彼女。お子さんがうちの息子と同じ学校に通っていることもあり、以前からご挨拶程度は交わすものの、なかなかゆつくりお話しする機会もきつかけもありませんでした。

イスラムの教えにしたがったハラル料理。食肉の種類や扱い方に厳格な決まりはありますが、彼女の話を聞いていると、「家族を思い、家計を思い、試行錯誤する母の姿は、世界共通だなあ。」と、急に距離が縮まったように感じました。私達はすっかり意気投合し、LINEを交換して、次は、近所の気になるカレーのお店と一緒に、行こうと約束をしました。

昨年末、松本市に暮らす外国人住民は4286人と、過去最多を更新したそうです。多様な文化の享受から新しい価値観を獲得する。今がまさに、そのチャンスのような気がします。